

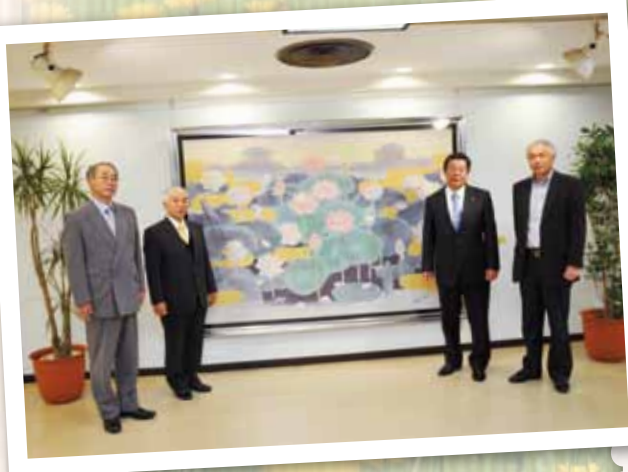
異空間を演出したイベントで さらに行田を元気に

2月10日、第1回うきしろコスプレサミットが開催され、産業文化会館ではトークショーが、忍城址と水城公園ではコスプレイヤーによる撮影会が行われました。

落語家の2代目林家木久蔵さんが司会を務めたトークショーでは、ゲーム「戦国無双」で伊達政宗役の檜山修之さんとアニメ「ドラえもん」でジャイアン役の木村昴さんが、声優になったきっかけや収録中の裏話など興味深い話を披露。2人のユーモア溢れる話に、観客席から笑い声が絶えることはありませんでした。

また、忍城址と水城公園ではアニメやゲームのキャラクターなどに扮したコスプレイヤーの皆さんが、思い思いのポーズをとって写真撮影を楽しんでいました。

異空間を演出したこの新しいイベントが、行田のまちをさらに活性化させることでしょ。



幻想的な絵画が寄贈されました

2月6日、市役所2階展示スペースで絵画の贈呈式が行われました。

この絵画は、山本食品工業(株)が行田の魅力を広くPRしようと、日本画家の石原進さんに制作を依頼したもので、行田蓮を題材にした幻想的な絵画が寄贈されました。

縦1m54cm、横2m25cmの絵画が展示スペースに設置されていますので、市役所にお越しの際は、ぜひご覧ください。

鬼は～外。福は～内。

2月3日、行田八幡神社で節分祭が行われ、福を授かろうと多くの方が訪れました。

年男・年女、さらには忍城おもてなし甲冑隊が「鬼は外。福は内」と大きな声で福豆をまくと、訪れた方は手を伸ばして福を受け取っていました。

また、甘酒の振る舞いや市内特産品の販売、軽トラ市も開催されるなど、境内は大いににぎわいました。



待望の地えびの上映会

2月2日・3日に、産業文化会館ホールで映画「のぼうの城」上映会が行われました。

午前・午後の部併せて2日間で4回上映された映画に、1,457人の観客が会場を訪れました。映画館で見た方も、初めて見る方も、行田の地で映画を見ることに感慨深いものがあるのか、エンドロールが流れ終わった後も、いつまでも余韻にひたっていました。この映画を見たことで、郷土愛がより育まれたことでしょう。



地域を守る一員として

2月2日、中央公民館で行田市ジュニア防災会議が行われました。

この会議は、災害時に地域防災の一員となる中学生を対象に、防災意識の高揚と防災知識の向上を目的に行うもの。参加した市内全中学校の生徒会役員のメンバーは、学校周辺の地図を基に、地域の特徴や防災拠点、危険箇所などについてイメージトレーニングをしました。また、防災会議では、工藤市長を交え、災害発生時に中学生自らができることについて意見を交換しました。

平和と命の大切さを学ぶ

1月19日、産業文化会館で、渡部陽一さんを招き「行田市人権教育合同学習講演会」が行われました。

戦場カメラマンとして世界各地の紛争地域を駆け回り、戦火の中で、生きる人々を撮影してきた渡部さん。スクリーンに映し出された写真を背に、戦争で被害を受けた子供たちのことなど、戦争の悲惨さを独特な口調と身振りで語る姿に、観客の誰もが平和や命の尊さを実感しているようでした。



保護者の「声」をお聴きしました

2月5日、商工センターで、さらなる子育て環境の充実を図るため、行田市PTA連合会協力の下、子育て中の保護者を対象にした市政懇談会が開催されました。

学童保育室や学校の教育環境・授業時間など、日ごろ感じている「子育て」や「教育」について、保護者ならではの意見が寄せられました。

本市では、今回いただいた貴重な意見を今後の子育て施策に生かし、子育て環境ナンバー1のまちを目指していきます。